

6m QRPAM トランシーバー (JR8DAG-2006AM)

～ 自作6m QRP AM トランシーバーのスタンダードをめざして～

はじめに

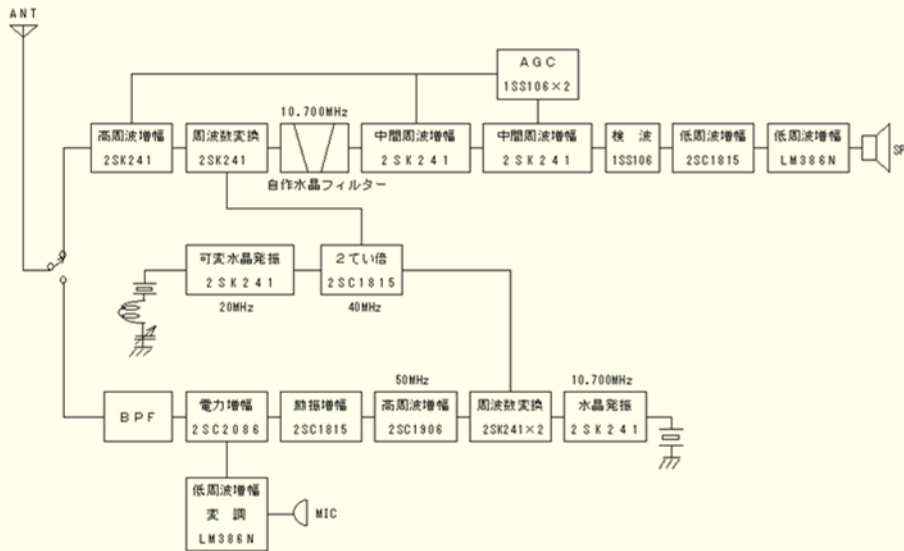
本作品は製作のしやすさや再現性を確保しつつ、6m QRP AM運用を実用的に楽しむことができる使い勝手の良い自作機のスタンダードをめざして、これまでの10年以上にわたる6mAM運用で得られたノウハウや技術を生かしながら製作しました。本作品はJR8DAGが2006年に製作した6mAMトランシーバーという意味合いで「JR8DAG-2006AM」という名称を付けました。



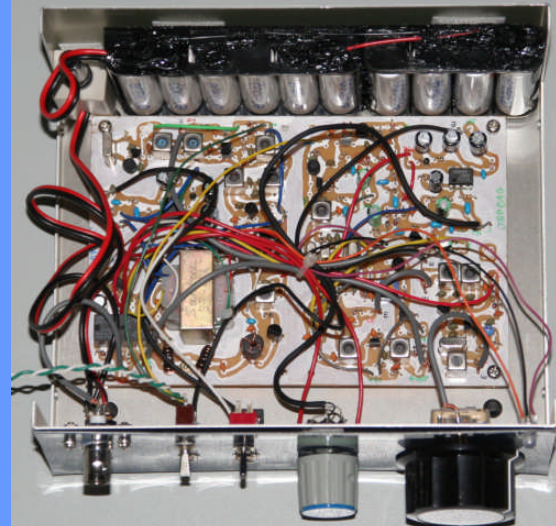
本作品の特徴および概要

- (1) 周波数可変トランシーブトランシーバーで、50.550～50.650MHzを運用可能。
- (2) 先行試作を行うことにより回路、部品の入手、製作における再現性を確保。また、同時に交信が可能かどうかといった運用面での実用性も確認。
- (3) 受信はラダー型水晶フィルターを使用したシングルスーパーヘテロダイン方式で、シンプルな回路で高感度、高選択度を実現。
- (4) 送信は終段コレクタ変調で出力200mW。大型トランスを使用したことによる良好な変調。
- (5) 周波数構成の検討やコイルの使い方を工夫し、必要なスプリアス性能を確保。
- (6) 大きさは幅180mm×高さ70mm×奥行160mm(突起物除く)で自動車での移動運用もしやすい大きさ。さらに、電源を内蔵することで移動運用の使い勝手が向上。重さは電池込みで約950g。

本作品の系統図



内部の様子



使用感など

2006年より運用を開始し、2012年7月時点で日本の全エリアおよび韓国の約780局と交信できました。2012年現在、Esシーズンその他、コンテストや移動運用で使用する主力機となっています。受信感度や送信音質については必要なレベルを確保しており、運用周波数も使用頻度の高い範囲をカバーしています。電源を内蔵したことで移動運用時における使い勝手も向上しました。本作品が自作6m QRP AM トランシーバーの参考例となればと思います。



JR8DAG / 菅野 正人